



子育てリフレッシュ館 RELATTO (リラット) 7月21日ついにグランドオープン

7月16日、子育てリフレッシュ館RELATTO(リラット)でプレオープンイベントを開催しました。当日は、心待ちにしていた家族がたくさん訪れ、6万個のボールプールや滑り台でとても楽しそうに遊んでいました。遊んでいた子どもたちは「ボールがいっぱいあって楽しい」「トランポリンが面白い」と興奮気味に話し、保護者たちは



「家の近くに子どもが遊べる施設が出来て本当に助かります。育児の相談に乗ってもらえる人が近くにいる、というのも安心感があります」と話していました。

なおRELATTO(リラット)は7月21日にグランドオープンしました。



小型家電のボックス回収スタート

市役所など、市内20箇所の公共施設に、携帯電話などの小型家電の回収ボックスがお目見えしました。回収した小型家電に含まれる希少金属が、2020年東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルに生まれ変わります。資源の有効活用と焼却ごみを削減のため、利用してください。



地元野菜のトラック市 開催

7月14日、寝屋川市駅東側の特設広場で、地元野菜の展示・販売が行われました。会場には、キャベツやトマトなど、地元で採れた新鮮な野菜がいっぱい。朝から多くの人を訪れました。なすを買った女性は、「採れたての野菜が買えるのはうれしい。次も楽しみにしています」と話しました。





マイナンバーカード申請 出張受付盛況

7月14日、市民体育館の特設会場でマイナンバーカードの申請に必要な顔写真の無料撮影、申請書記入補助など行う出張受付を行い、約90人が申請しました。マイナンバーカードは写真付きの身分証明書として利用できたり、全国のコンビニエンスストアで住民票等が取得でき大変便利です。昨年の出張受付には約2,800人が申請し、市全体の申請率が1%も増加しました。8月・9月も出張受付を行っていますので是非利用してください（日時、場所は15ページをご覧ください）。



どろりんピック開催

6月30日、成田南町で田んぼの中でかけっこや綱引きを楽しむ「どろりんピック」が開催されました。町のなかにある広い田んぼで、子どもたちは普段なかなか触れることのない自然と思いっきり触れ合いました。みんなの泥にまみれた笑顔がとて素敵でした。

優秀な成績を収めた皆さん

(左から)
○宮田尚輝さん、サッカー部主将
○全国高等学校定時制通信制体育大会
第28回サッカー大会出場
○高崎美柚さん、全国高等学校定時制通信制体育大会
第20回バドミントン大会団体戦出場
○酒井霞さん、バドミントン部部長
○全国高等学校定時制通信制体育大会
第20回バドミントン大会個人戦・団体戦出場



寝屋川高校の皆さん

○第18回全日本少年少女空手道選手権大会出場
○第41回大阪府小学生空手道選手権大会形小学女子2年の部優勝



萬岡妃瑠さん
(市立東小学校2年生)

○第18回全日本少年少女空手道選手権大会出場
○第41回大阪府小学生空手道選手権大会形小学女子3年の部2位



西川温さん
(市立神田小学校3年生)

○6月に行われた選考会で、優秀な成績を収め、高学年の部大阪代表として平成31年1月5日に行われる「第17回小学生倉敷王将戦」に出場予定



岡本晏吏さん
(市立中央小学校6年生)

10代、20代の女性から圧倒的な支持を受ける

ガールズバンド 「yonise」

「帰ってくる
絶対的な場所。」

笑顔で表敬訪問

市出身のガールズロックバンドYonise(ヨニゲ)が、5月27日に行われた、地元凱旋ライブ「寝屋川総取」を前に、市長表敬訪問のため市役所を訪れインタビューに応じてくれました。

高校1年生のときに転入してきた牛丸さんと、生まれも育ちも香里園というごっきんさんの2人は、約1年前から東京に拠点を移し、市長に「市民が2人減ってしまっすみません」、はちかづきちゃんとかねや丸くんの人形を見付けると、「ねや丸くんの存在を知らなかった。いつの間に…」と大爆笑するなど、ライブのときは違う一面を見せてくれました。

今年の1月には携帯電話会社のCMソング「笑おう」の歌手として起用されるなど、一気にスター街道を駆け

牛丸(うしまる)ありささん
(ボーカル・ギター)

上がり、世間から大注目を浴びるバンドとなりました。

「寝屋川愛」のルーツに迫る

改めて、市の印象を聞いてみると「何も無いけど、住むのには困らない」と言いつつ、牛丸さんは、「引越して何度かしたけど、寝屋川市が一番しっくりくる」。ごっきんさんは「自分のふるさとであるこのまちは、帰ってくる絶対的な場所」と、寝屋川愛を語ってくれました。

ごっきんさんが初めて買ったベースは、寝屋川市駅前の楽器店で購入したもの。牛丸さんが高校生のとき、市内の河川敷でギターを弾きあかしたことが、人気曲「アボガド」の歌詞は市内での実話を基に作られたこと。など、寝屋川市でのエピソードをたくさん話してくれました。Yoniseとしての出発点は、寝屋

川市駅前のライブハウス。「地元こういう場所があるのは音楽活動を行う若者にとって大きい存在」と断言しました。

最後に市民に一言を聞いてみると、牛丸さんは、「ただいまというか、初めましてというべきか…」と言葉を詰まらせました。ごっきんさんが続け、「昔から聞いてくれていた人にも、新しい人にもYoniseのルーツを知って欲しい」と話しました。

翌日行われた、自身初のホールワンマンライブ「寝屋川総取」では、1200枚のチケットが全て完売。ライブが行われた市民会館は、全国各地から来た若者で埋め尽くされました。

ライブ中「いつか、寝屋川市の成人式に出演したい」と語ってくれた2人が、今後の寝屋川市を牽引して行く存在になってほしいですね。

ごっきんさん(ベース・コーラス)

